

# 高速道路無料化社会実験終了に伴う 影響等に関する基本調査結果

(平成23年7月)



社団法人 鹿児島県トラック協会

# 高速道路無料化社会実験終了に伴う影響等に関する基本調査結果

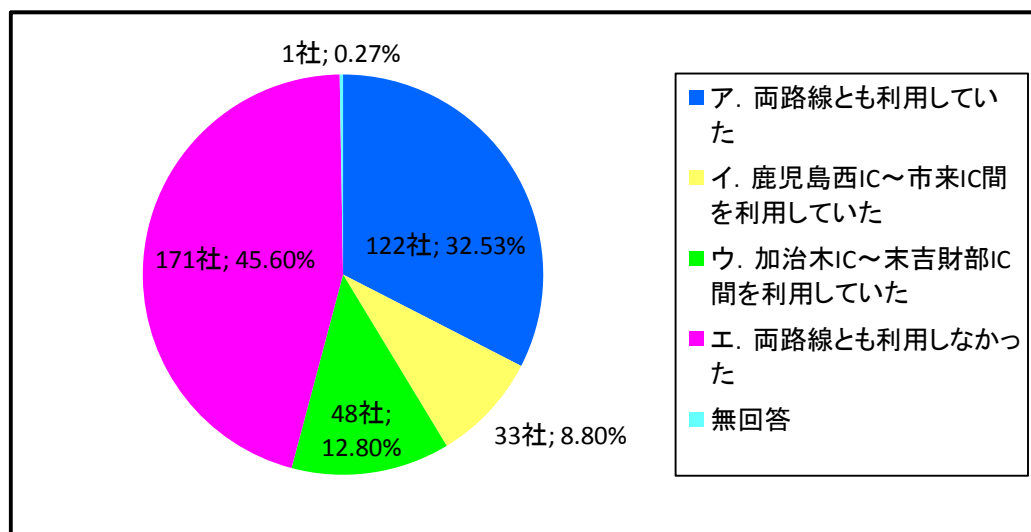
社団法人鹿児島県トラック協会

実施日：平成23年7月7日実施  
調査対象：716社（離島を除く会員事業者）  
回収数：375社（回収率：52.37%）

昨年6月28日から全国37路線50区間で高速道路無料化社会実験が開始され、当県においても、鹿児島西IC～市来IC間、加治木IC～末吉財部IC間が実験路線となり、更には実験路線の拡大が公表されたところであったが、3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり、6月19日をもって終了した。

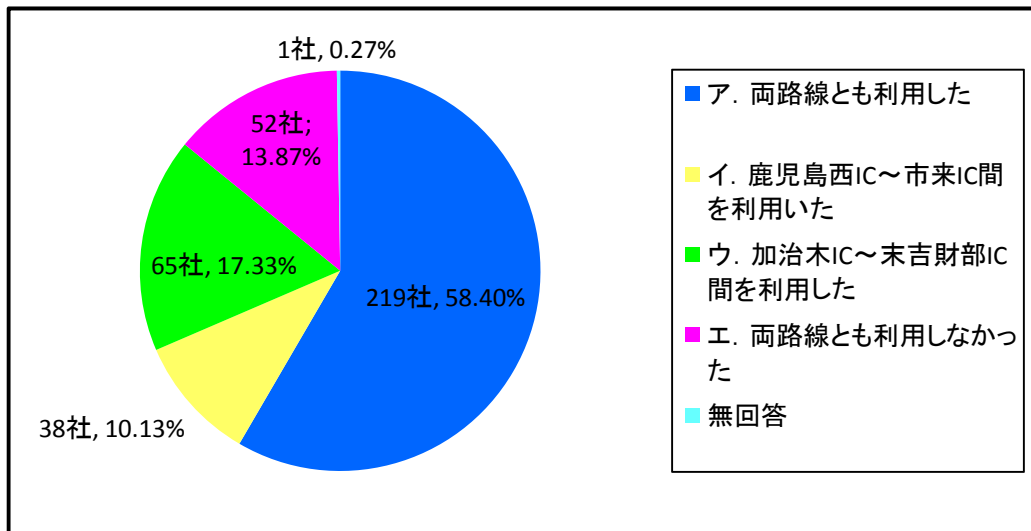
県ト協では、無料化社会実験終了に伴う影響等についてアンケート調査を行った。

## 問1. 無料化社会実験前、県内対象路線を利用していましたか。（時々も含む）



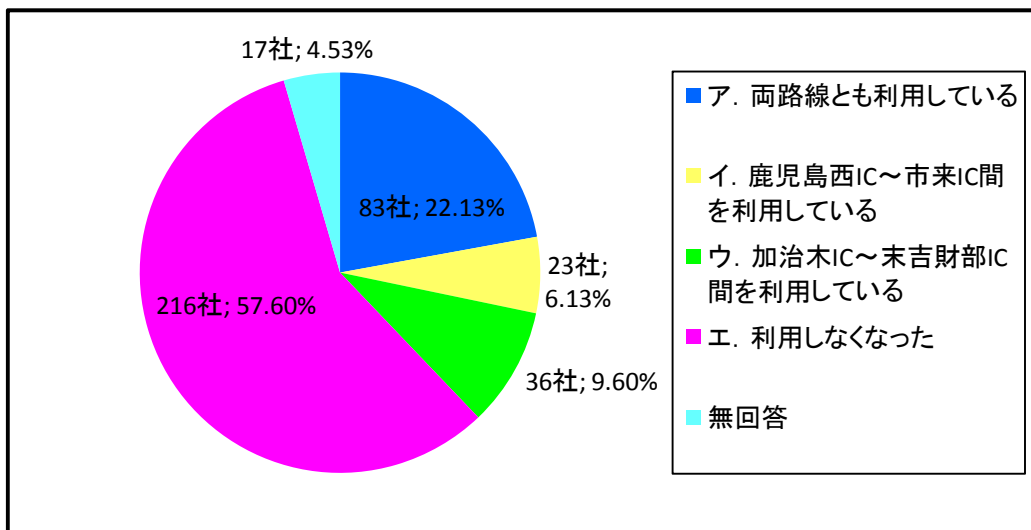
- 5割強の事業者が「対象路線を利用していた」と回答。
- 3割強の事業者が「両路線とも利用していた」と回答。

問2. 無料化社会実験期間中、県内対象路線を利用しましたか。(時々も含む)



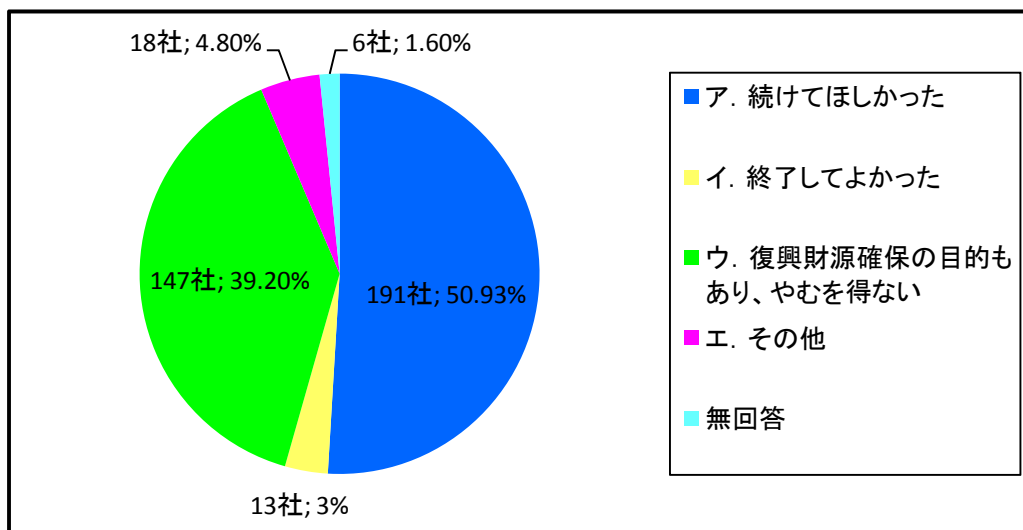
- 約9割の事業者が「対象路線を利用した」と回答。
- 無料化により高速道路の利用頻度が高まったことがうかがえる。

問3. 無料化社会実験終了後、県内対象路線を利用していますか。(時々も含む)



- 対象路線を利用していると回答した事業者は約4割で実験中と比べ5割減少し、実験前と比べ約1割減少した。
- 実験前の利用状況と比較すると、「利用している事業者」と「利用していない事業者」の割合が逆転した。

問4. 無料化社会実験の終了について、どう思われますか。



- 「継続を希望する」と回答した事業者が過半数を超えた。
- 東日本大震災の復興財源確保の目的もあり、「やむを得ない」との回答が続いた。